



主な経歴

- 団体職員として下水道施設の設計施工、その後、出向で勤務した中部地方整備局では河川や道路の機械設備の設計に従事。原子力関係機関では事故後の住民支援、以降民間コンサルタントで設計に従事。
- 国土交通省の技術力は高いことは、中部地方整備局に従事した経験から認識しており、さらなる技術力向上と、持っている知見を還元し奉仕したいと考え転職。
- **令和4年4月 中部地方整備局 採用**

◇令和4年4月～現在
沼津河川国道事務所
河川管理課 河川維持係長



黒沢 純一郎さん
【採用1年目】

前職ではどのような仕事をされていましたか。
大学院を卒業後、団体職員として下水道施設の設計や施工に携わりました。その際、中部地方整備局に出向し、道路や河川の設計等も経験しました。以降は、原子力関係機関で設備の検査や住民支援に従事し、その後は民間のコンサルタント会社で主に自治体や電力会社のダム設計に従事してきました。

現在は、どのような仕事をされていますか。
河川や道路の機械施設の設計、維持管理に従事しています。河川では、設置から半世紀近く経った河川施設の更新や維持管理に携わっています。道路では、伊豆縦貫自動車道の設備設計等に携わっています。

これまで、人生経験を色々されているなかで、なぜ転職しようと思われたのですか。
私は、過去に中部地方整備局の施工企画課で、河川や道路行政の設計業務に携わったことがあります。

その中で、中部地方整備局だけではなく、全国の国土交通省職員の技術力の高さを重々認識する機会があり、知見が大きく広がりました。今回50歳を迎え、自身のさらなる技術力の向上を目指したいと考えました。そして、得てきたものを今度は整備局の皆様、国民にフィードバックし、奉仕することが有意義であると考え、転職しました。

その中で中部地方整備局を選んだのはなぜですか。
過去に、中部地方整備局で多くの職員と関りがあり、貴重な経験をさせていただいたためです。中部地方整備局では過去に多くの洪水被害を経験し、対策が進んでいる一方で施設が老朽化し、近年増加している豪雨災害にどのように対応するかが課題となっています。また、東海・東南海・南海の3連動地震への対策等、どれもその課題が大きいことが知られています。これらの大きな課題解決に取り組むことに携わりたいと考え、中部地方整備局を選びました。



入省前と実際の業務でのギャップはありますか。
施設の老朽化に比例し、日々故障やトラブルが発生します。これらの中には、直ちに人命に影響するようなものも含まれるため、優先順位をつけ、解決する必要があります。一方で、災害は故障が直るまで待つはくれませんから、迅速な対応や限られた予算内でのやりくりも重要になります。

このほか、対応が周辺住民に及ぶ場合は、円滑な住民説明等も求められます。

これらの個々の対応は想定内でしたが、どれもほぼ同時に対応することまでは想定外であり、ギャップとなっています。現在は、この想定外を無くすことに重きを置いています。

入省時の役職として係長、そのあたりでプレッシャーを抱えていることはありますか。
大きな役割を担うため、その責任とプレッシャーは比例し大きいものです。特に、地域の方々と接する際には、その役職だけでなく、国土交通省の信頼を損ねないように、十分留意しています。

職場の雰囲気、働きやすさはどうですか。
相談がしやすい雰囲気があり、コロナ禍の対応としてテレワークや時差出勤も浸透し、働きやすいです。また、静岡県ブロックの職員会議も頻繁に行われており、事務所単位での困りごと相談できる体制が構築されていることにも働きやすさを感じています。

前職の仕事内容は活かされていますか。
私の場合は、活かして頂ける業務配置となっております。

給与、収入面、そのあたりは。
職歴を勘案して給与を決定しているため、感謝しています。また、宿舍も貸与いただき、魅力を感じています。

家での生活に変化はありましたか。
妻と宿舍で暮らしています。妻は看護師のため、転勤等があっても柔軟に対応できる点が大きいです。また、沼津市近辺は多くの観光地や海の幸や山の幸が豊富で、充実した休日を過ごしています。

今回、人生の大きな選択にあたり、ご家族に相談はしましたか。
相談しました。家族は今までも転勤が多かったことから、特段問題なく受け入れてもらっています。

実際転職してみて選択に後悔はありませんか。
後悔はありません。課内・本局の職員にも、とてもよくしていただき静岡ブロックの職員会議や同期の経験者採用の係長とも意気投合しています。今後も、同期の経験者採用の係長と二人三脚で取り組んでいきたいと考えております。

本日はありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。
こちらこそよろしくお願いいたします。

